



### 本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、  
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



## 甲状腺がん 発覚編 006：山笠！今年も参加出来る！

2017年3月11日（土）

### 博多祇園山笠。



一般的な期間は7月1日から15日までですが、毎年、その準備は、終わった瞬間から1年間かけて行われています。トキが生まれ育った博多の町の世界に誇る神事であり、祭りであり、トキの先祖代々も参加してきました。トキも子供の頃は「女の子の前で尻を出すのが恥ずかしい」とぐらいしか思っていませんでしたが、大人になり、改めて参加するようになってからは、その魅力に、はまる一方でした。尻と大声を出し、水をジャンジャンかけられながら、巨大な山笠を舁いて走る。

### 普通の生活の中で、こんなにアドレナリンが出ることは他にありません。

ただ、祭りだと楽しんでいるだけではありません。山笠を前に進めるために、それぞれが自分の出来ること、やるべきことと一心に向き合います。皆が同じ方向を向き、想いを一つにする。だからこそ、7月15日の早朝、追い山笠を終えた瞬間、

### 達成感と同時に空虚感で胸が苦しくなるのです。

そして、今年もこの気持ちになれたことに感謝をしながら、来年もまた、この気持ちになれることを願います。全ては健康だからこそ、支えてくれる人がいるからこそなのです。

**トキは、所属する町で『衛生』という役職を務めています。**

文字通り、参加する皆さんにケガや病気がないように健康を管理し、対応するのが主な職務です。そんな役職のトキ自身が大病なのです。ですが、トキは諦めていません。医師の話では、手術後1か月以内には仕事にも復帰、運動もした方がいいということです。トキは強く思いました。

**出来る！絶対、今年も参加出来る！**

そこで、トキは町内の代表や相談役、各町の衛生の方々にも病気や手術のことを全て話したうえで「準備を4月いっぱい休ませてほしい」と願い出ました。誰もが驚き、治療に集中するように気遣ってくれました。中には涙目の人もありました。みんなで背負うと声をかけてくれた人もいました。

皆が、「**待とうよ！**」と、声を掛けてくれました。

**待っている人がいる、戻って来られる場所があることをトキに教えてくれました。**

⇒ **007** : 代わりきかない仲間たち。